非行のふえる時期

生活態度くずさぬよう

ふだんと違った雰囲気をかもし出す年末年始は、児童生徒、勤労青少年にとって不良化や非行化につながりやすい時期でもあります。

各家庭ではもちろん、一般社会人としての父兄各位からも、次のようなことがらに注意していただくとともに青少年の健全育成にご協力ください。

各家庭では

◇「忙しいから」といって、放任や甘やかしは禁物です。

ふだんの月より心をくばり子どもの言動をあたたかく見守りましょう。

◇「勉強するー」などといって、夜遊びや友達の家に外泊することもありがちですから、行先や帰宅時間を確めましょう。

◇寄少年らしくない服装や持ち物や不良化のもとになります。

また、被害や誘惑をうけないよう、心掛けさせたかく見守りましょう。

◇ぶだんよりお金をたくさん手にする時期ですから、乱費くせがつかないよう計画をたてて使わせましょう。

◇盛り場や遊技場へ出入、特に暴グループへひきこまれる例も多いので、知らない友達がたずねてきたら気をつけましょう。

◇物の貸し借りやシンナー遊びが流行しやすいので、遊びの方法や場所を考え、とくにシンナーは生命にかかわる危険な遊びですから禁じましょう。

◇一般社会人の立場からは、盛り場や遊技場、その他少年として好ましくない場所へ少年を誘わないようにしましょう。

◇少年に酒、タバコをすすめないようにし、万一飲酒や喫煙する青少年には一言注意しましょう。

◇

◇青少年の不良化や非行化に拍車をかけるような有害図書、映画、各種興業などがはんらんする時期でもありますので、業者の方からは自粛方をお願い申し上げます。

◇

描く寸育教

ジュニア展に入賞

おおぜいの小学生が

「県ジュニア展」が十二月上旬、新潟で開かれました。作品も、年ごとに厳選された力作が展示されようになりましたが、今年は二万点にのぼる応募作品の中から、新津市内の小学生が優秀賞五点、奨励賞六十点、佳作多数と、数多くの入賞作品を出しました。

拙劣な作品は、色彩の見られないのが強念ですが、六年生の優秀賞入賞作品です。

校舎の新築工事場で土を掘る人たちが真剣に労働している姿を、素直にしかも誠実に描きあげています。

図工教育は、単に上手な絵かきを養成するものではなく、その作品を通して美しい心情を養い、円満な人格を育てることにねらいをおいています。

県ジュニア展優秀賞作品

『働く人』

金津小、6年　子本　間　仲

危険なシンナー遊びに注意

地方都市にもシンナー

危険なシンナー遊びが最近、地方都市にもはやってきました。

このシンナー遊びで、今年全国でも、すでに七十五人の少年が死亡しています。

さいわい当市にはまだ発生していませんが、この遊びは、シンナーやボンド・マイダインなどのにおいをかいで陶酔感にひたるものです。

最も危険なのは、地方都市の、人目のない場所、そして、シンナーを入れた袋をかぶり、その中でかぐ方法が一番つかわれています。

これがまた、最も危険なやり方で、死んだ少年のほとんどはこの方法によっています。

シンナーをすうと、頭痛、はき気、めまい、神経痛、食欲不振などをおこし、場合によっては、精神異常や中毒死します。

シンナーはにおいがつよいので周囲の人たちが気をつければすぐ見つけられます。

子供たちの心身を損う危険なシンナー遊びを、家庭、学校、職場、地域ぐるみで、なくしましょう。

少年事件のすう勢と家庭裁判所の処理状況（上）

近年、少年非行の問題は重大な社会問題として国民一般の強い関心を集めています。

昭和四十二年に全国の家庭裁判所で新たに受理した少年事件の総人員は約百七万七千人で、昭和三十九年以来、年間百万人を越えていますが、前年より約一万七千人減少しています。

少年事件は昭和二十八年以来増加の一途をたどっていましたが、このように大幅に減少したのは実に十数年ぶりの現象です。

これを行為別にみますと恐かつ、傷害、暴行、脅迫などの粗暴犯はいずれもかなり減少しています。

また、刑法犯の約半数を占める窃盗も減少しており、強盗、殺人、放火などの凶悪犯や、道路交通事件などの特別法犯もここ数年横ばい状態から減少の傾向にあります。

このように道路交通事件が減少しているのは、昭和四十二年の家庭裁判所で新たに受理した少年事件の総人員は約百七万七千人で、前年より約二万三千人減少しています。

さらに、これを業務上過失死傷事件を除いた、いわゆる主要刑法犯について年令層別にみますと十四、五才の少年が一八、三%、十六、七才の中間層が三六、一%、十八、九才の年長少年が三五、五%となっていて、前年に比べて年少少年の占める率が減少して、年長少年が増加し、年長少年が三六、一%、十八、九才の年長少年が三五、五%となっていて、前年に比べて年少少年と中間少年の占める率が減少して、年長少年が増加しています。

これは車両の普及、運転人口の増加、運転環境の未整備などの社会的条件によるところが大きいものと思われますが、非行の問題と、年長少年の凶悪犯や、道路交通事件などを通しても最大の課題を提起しているといえましょう。

金体の三%を占めるに至っています。

これは車両の普及、運転人口の増加、運転環境の未整備などの社会的条件によるところが大きいものと思われますが、非行の問題と、年長少年の凶悪犯や、道路交通事件などを通しても最大の課題を提起しているといえましょう。

少年と中間少年の占める率が減少して、年長少年が高くなっています。

これは、戦後のベビーブームの波が昭和四十二年には十八、九才層へと移ったため、年長少年の人口が多くなってきたことにおもな原因があると考えられます。

このような現状からみても、依然として問題は、年少少年、中間少年層にあることがわかります。

中間年少少年の人口比の高いことと関連して、あいかわらず学生、生徒による非行は少なくなく、一般保護事件の四一%を占めています。

とくに、高校生による事件の増加は最近の少年非行の一つの特徴となっていますが、中学生、高校生の非行を、それぞれの在籍人員を分母とする比率でみますと、昭和四十一年の統計では、高校生が九、一人であるのに対し、中学生は一九、九で中間層はより多く、中学生層にあることがわかります。

次に少年事件には、二人以上共同で非行を行なう共犯が依然として多く、昭和四十一年では一般保護事件の半分以上（五四%）を占めています。

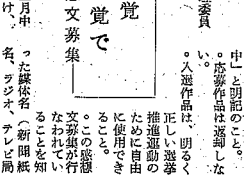
しかも単独で非行を行なった少年の中にも、集団の影響を受けて集団の影響を受けていると認められるものが多く、集団犯罪は、ますます非行を行なうような少年非行の特徴です。

ますが、各年令層の人口千人に対する比率は、中間少年が二二、六人で最も高く、ついで年少少年の一一、四人、年長少年の一、四人となっており、年長少年の人口比は、例年のように他の年令層に比べると最も低くなっています。

年末多忙　危険がいっぱい

このような有害な遊びが当市に入りこまないよう十分注意し、万一、発生ないようにしたいものです。

有害図書などは、すぐやめさせましょう。



連絡は署員宅へ

新金沢町は本署直轄に

急速に住宅化し、大きなまちになった新金沢町では、かねてから駐在所の設置を要望していましたが、このたび、次のような指置がとられることになりましたから、地域住民のご協力をお願いします。

◇新金沢町を本署の直轄区域としたいが、駐在所は設置されないが、町居住の川瀬藤吉巡査部長宅を、本田正弥署員宅（電話2-2655）を駐在、または交番のつもりで利用願うことになりました。

選挙への自覚

新鮮な感覚で

感想文募集

新有権者の新鮮な感覚と高潔な自覚を内容とするもの、

◇応募資格

昭和二十三年三月一日から二十四年十二月二日まで生まれた者。

◇締め切り日

昭和四十四年一月三十一日（当日づけ消印のある郵送作品は有効）

◇送付先

新潟県選挙管理委員会（県庁内）

◇入選者決定

昭和四十四年三月中旬（三月十五日づけ、二百字詰め原稿用紙換算で十枚以内。

◇応募作品

◇応募上の注意

。住所、氏名（ともにふりがなをつける）性別、生年月日、職業を原稿末尾に明記すること。（枚数制限外）

。感想文封入の郵筒の裏面左下に「感想文在中」と明記のこと。

。応募作品は返却しない。

。入選作品は、明るく正しい選挙推進運動のために自由に使用できること。

。この感想文募集が行なわれていることを知った媒体名（新聞紙名、ラジオ、テレビ局名、広報紙名など）を記入のこと。

。応募作品は一人一点に限る。

新有権者から選挙への自覚

新有権者の新鮮な感覚と高潔な自覚を内容とするもの、

◇応募資格

昭和二十三年三月一日から二十四年十二月二日まで生まれた者。

◇締め切り日

昭和四十四年一月三十一日（当日づけ消印のある郵送作品は有効）

◇送付先

新潟県選挙管理委員会（県庁内）

◇入選者決定

新潟県内の新成人多数がご応募ください。

◇感想文の内容と課題

新有権者としての、民主政治、とくに選挙に対する自覚を内容とするもの、

◇原稿枚数

二百字詰め原稿用紙換算で十枚以内。

◇応募資格

昭和二十三年一月一日から二十四年十二月二日まで生まれた者。

◇応募上の注意

。住所、氏名（ともに三十一日までに生まれ

お正月のご休暇は都会の雑音をさけて……

みどりと老松に囲まれ、全館古美術品に飾られた格調あるホテル桂山荘でお過ごしください。
温泉気分に浸りながら囲碁、将棋、マージャンなど各種ご会合にもお気軽にご利用ください。

ホテル　桂山荘

マイクロバスで送迎
大駐車場も完備してございます

新津市秋葉山　電話（02502）2－1001～3